

【種別】

[天使](#)

【初出】

四巻

【解説】

『後方の青色』とも表記。

水の象徴にして青を司り、月の守護者にして後方を加護する者。

旧約においては墮落都市ゴモラを火の矢の雨で焼き払い、

新約においては聖母に神の子の受胎を告知した者。

常に神の左手に侍る双翼の大天使。

『[神の右席](#)』[後方のアックア](#)の宿す属性でもある。

『[御使墮し](#)』で降りてきた天使であり、

その際は[ロシア成教](#)所属の[殲滅白書](#)のメンバー・[サーシャ=クロイツェフ](#)に宿り、

[ミーシャ=クロイツェフ](#)を名乗っていた。

ガブリエルが何故『ミーシャ(ミハイル=ミカエルのロシア名愛称)』を名乗ったのか長年謎にされてきたが、

20巻における[フィアンマ](#)の言により、[四大元素](#)の歪みが原因であるらしいことが判明した。

作中では一度もこの件に言及されず、

四大元素の歪みという事実が明かされた際には[神の右席](#)である[ヴェント](#)ですら驚愕するというあたり、

かなり根の深い問題のようである。

なお『神の力』が本性を現した時、

[土御門](#)は『神の力』に『水』を持っていかれてしまったため得意の[黒ノ式](#)が使えなかったことから、

『神の力』が力を行使している間は水の魔術が使えなくなると思われる。

【参照】

[ミーシャ=クロイツェフ](#)

---